



持続可能な農業運営とリトリート シティプロモーションについて

飯島 一志 議員



質問 令和6年産の主食用

米の収穫量は679万2000トンでしたが、今年の米の収穫状況について伺います。

ています。

質問 高温障害の状況について伺います。

答弁 高温障害の状況としては、乳白米が散見されるものの、昨年ほどの被害はなかったと見られています。また、不稔籾も少ないとのことです。

答弁 見込みの数字になりますが、報道や資料の多くでは約747万7000トンとされ、前年より約68万5000トンの増産となつ

質問 今後の取組について

伺います。

答弁 基盤整備や地域の話し合いを通じた農地の集積・集約化、そして新たな担い手の育成を図り、今後も営農環境の整備を進めていきます。また、可能な限り生産者のニーズにも応えられるような施策を進め、本市の農業を守っていききたいと考えています。

質問 リトリート旅の進捗状況について伺います。

答弁 周遊型のプランニングが有効であると考え、コ

ンテナツの充実に向け、取り組んでいるところです。そのほか、回遊性を高めるためにレンタサイクルの充実も図っており、10台の電動アシスト自転車を導入しています。

質問 館林市シティプロモーション推進方針の目的を伺います。

答弁 本市の多様な魅力を戦略的に発掘、発信し、市民の誇りを高めるとともに、交流人口や移住定住人口を増やし、地域経済を活性化

し、最終的には持続可能なまちづくりの実現を目指すものです。

質問 シティプロモーション推進方針と移住定住を今後どのようにつなげていくのか伺います。

答弁 本方針に基づきながら、本市の豊かな自然や都心へのアクセスのよさ、文化、芸術、食などの多くの魅力を、様々な媒体を用いて積極的にプロモーションしていきたいと考えています。



子ども・子育て支援事業について

田辺 純子 議員



質問 1歳児の保育士配置基準が変更されたが現状は。

答弁 本市の公立・私立園では、1歳児クラスの幼児、おおよそ5人につき1人以上の保育士を配置しており、該当する私立園に対しては、令和7年度より1歳児配置改善加算を措置しています。

質問 育休明けの1歳児の

途中入所の状況と対応は。

答弁 21件の申請のうち、年度途中入所できた子どもは10人、保留11人で、理由は兄弟が在園する園や、居住する小学校区の園など特定の園を希望している方が10人、自家用車を保有していないため、近隣の園を希望している方が1人です。

質問 保護者が納得のいく保育園に、安心して子どもを預けられるよう、保育士を確保するための対策は。

答弁 保育士の再就職を応援する、潜在保育士再就職支援事業や保育所復帰支援事業、私立園の保育士に係る人件費補助を行う、乳児受入支援事業等により保育士の確保を図っています。

質問 こども誰でも通園制度の内容と現状は。

答弁 生後6か月から満3歳未満で保育所に通ってい

ない子どもを育てる家庭が、時間単位で利用できる通園制度です。令和8年度からの本格実施に向け、美園・松波保育園の2園で試行的に開始し、2人の保育士が1対1で対応しています。

質問 試行された内容は館林市の条例づくりに生かされるべきです。抽出された課題や見通しは。

答弁 利用認定を受けている子どもは、全体の12%にとどまっており、効果的な周知方法の研究を進め、利

用者の増加につなげていきたいと考えています。

質問 館林市子ども・子育て会議の役割は。

答弁 子ども・子育て支援法に基づく、計画に関する意見聴取のほか、施策の推進に関し実施状況を調査審議する等が挙げられます。

要望 会議では意見を出しやすい環境を設定し、また、調査の実施にあたっては、子どもの権利条約に基づき、子ども達の思いを大切にしながら取り組んでほしい。